

令和元年度

河南町中学生海外派遣事業報告書



シンガポール共和国

令和元年7月28日（日）～8月4日（日）

河南町教育委員会

目 次

☆ 事業・派遣先概要	• • • • •	1
☆ 派遣者名簿	• • • • •	2
☆ 派遣日程	• • • • •	3
☆ 事業の経過	• • • • •	5
☆ 派遣者報告		
板倉 成那	• • • • •	8
遠藤 夢来	• • • • •	9
奥野 魁	• • • • •	10
春日 奏夢	• • • • •	11
金沢 仁菜	• • • • •	12
木村 さくら	• • • • •	13
坂本 夏帆	• • • • •	14
坂本 雅哉	• • • • •	15
佐藤 琉曖	• • • • •	16
竹中 照	• • • • •	17
谷村 咲	• • • • •	18
玉置 彩羽	• • • • •	19
寺内 敬士郎	• • • • •	20
徳永 萌々花	• • • • •	21
中 啓奎	• • • • •	22
長谷川 優菜	• • • • •	23
林 夢叶	• • • • •	24
増永 万莉菜	• • • • •	25
宮村 樹季	• • • • •	26
村元 海音	• • • • •	27
☆ 引率者報告		
藤木 幹史	• • • • •	30
湯浅 千賀子	• • • • •	31
☆ 記録写真	• • • • •	32
☆ 現地報告ブログ	• • • • •	48

事業・派遣先概要

目的

河南町在住の中学生を海外に派遣し、国際感覚を養うとともに国際理解を深めさせ、将来地域の振興に寄与する人材を育成する



©OpenStreetMap contributors

派遣先

- ▶ 正式名称：シンガポール共和国
(Republic of Singapore)
- ▶ 首都：シンガポール
- ▶ 人口：約539.9万人
- ▶ 面積：約700km²

シンガポール基本情報

- ▶ 人種・民族：中華系、マレー系、インド系、その他
- ▶ 宗教：仏教、イスラム教、キリスト教、道教、ヒンドゥー教
- ▶ 言語：マレー語(国語)、英語(公用語)、中国語、マレー語、タミール語
- ▶ 通貨：シンガポール・ドル
- ▶ 時差：-1時間。
シンガポールが正午のとき、日本は午後1時
- ▶ 平均気温(7月、8月)
:最高31℃、最低26℃
- ▶ 降雨日数(7月、8月) 10~11日

派遣期間

令和元(2019)年7月28日(日)~8月4日(日) 8日間

派遣者

河南町に住所を有する中学2年生 20人

派遣者名簿

生徒氏名

氏 名	学 年
板倉 成那	中学2年
遠藤 夢来	中学2年
奥野 魁	中学2年
春日 奏夢	中学2年
金沢 仁菜	中学2年
木村 さくら	中学2年
坂本 夏帆	中学2年
坂本 雅哉	中学2年
佐藤 琉曖	中学2年
竹中 照	中学2年
谷村 咲	中学2年
玉置 彩羽	中学2年
寺内 敬士郎	中学2年
徳永 萌々花	中学2年
中 啓奎	中学2年
長谷川 優菜	中学2年
林 夢叶	中学2年
増永 万莉菜	中学2年
宮村 樹季	中学2年
村元 海音	中学2年

引率者氏名

藤木 幹史	河南町教育委員会事務局
湯浅 千賀子	河南町立中央保育園

派遣日程

No.	月 日	都 市	旅 程 内 容	
1	7月28日(日)	大 阪 関西国際空港発 チャンギ空港着	08:30 10:55 (以下現地時間) 17:30	◎集合 関西国際空港 ◎シンガポール航空 (SQ619 便) ◎入国手続き後、専用バスで滞在先へ ◎ホテル着 ・オリエンテーション・夕食
2	7月29日(月)	シンガポール	午前 午後 夕刻	◎ホテルにて朝食 ◎徒歩にて ULC (語学学校) へ ◎ULC にて英語のレッスン ◎フードコートにて昼食 ◎シンガポール市内研修へ ・マラーイオン公園 ・ガーデンバイザベイ入場 ・マリーナベイサンズ周辺散策等 ◎マリーナベイサンズ周辺で夕食 ◎マリーナベイサンズ SPECTRA 鑑賞 ◎MRT にてホテルへ
3	7月30日(火)	シンガポール	午前 午後	◎ホテルにて朝食 ◎徒歩にて ULC へ ◎ULC にて英語のレッスン ◎フードコートにて昼食 ◎シンガポール動物園へ ◎シンガポール動物園にてアクティビティ ◎シンガポール動物園を出発 ◎ホテル周辺にて夕食
4	7月31日(水)	シンガポール	午前 午後	◎ホテルにて朝食 ◎徒歩にて ULC へ ◎ULC にて英語のレッスン ◎フードコートにて昼食 ◎徒歩、MRT にてマルチカルチャーツアーへ ・チャイナタウン、リトルインディア、アラブ ストリート等 ◎MRT にてホテルへ ◎ホテル周辺にて夕食

No.	月 日	都 市	旅 程 内 容	
5	8月1日(木)	シンガポール	午前	◎ホテルにて朝食 ◎専用バスにて現地校へ ◎現地校にて交流 ・Fajar Secondary School 訪問 ◎現地校カフェテリアにて昼食 午後 ◎専用バスにてシンガポール国立大学へ ・大学キャンパス内見学 ◎専用バスにてホテルへ ◎ホテル周辺にて夕食
6	8月2日(金)	シンガポール	午前	◎ホテルにて朝食 ◎専用バスにて現地校へ ◎現地校にて交流 ・Fajar Secondary School 訪問 ◎現地校カフェテリアにて昼食 午後 ◎専用バスにてULCへ ・日本人ビジネスマンからの講話 ◎ホテルにてホストファミリーと会う ◎それぞれホストファミリー宅へ
7	8月3日(土)	シンガポール		◎終日ホストファミリーと過ごす
8	8月4日(日)	チャンギ空港発 大阪 関西国際空港着	10:30 14:20 (以下日本時間) 21:35 22:45	◎ホストファミリー宅にて朝食 ◎ファミリー送迎によりチャンギ空港集合 ◎シンガポール航空(SQ622便)にて大阪へ ◎入国手続き ◎解散 関西国際空港

※MRT・・・Mass Rapid Transit の略。シンガポールの電車・地下鉄

※ULC・・・United Language Center の略。派遣中に利用した語学学校

事業の経過

月日	内容	参加者
4月25日(木)～ 5月20日(月)	【参加者募集開始】 ➢ 募集定員 20人程度	対象：中学2・3年生
5月7日(火)	【応募者説明会】 ➢ 事業概要説明 ➢ 募集要項説明 ➢ 質疑応答	応募予定者
5月23日(木)	【派遣者決定】 ➢ 20名派遣決定	中学2年生
6月5日(水)	【保護者説明会】 ➢ 事前研修計画・旅行行程説明 ➢ 提出物説明 ➢ 参加負担金説明 等	派遣決定者
7月6日(土)	【事前研修 第1回】 ➢ 研修行程確認(委託業者実施) ➢ 語学研修(町実施)	派遣中学生 委託業者 町ALT 引率者、担当者
7月12日(金)	【事前研修 第2回】 ➢ 語学研修(町実施) ➢ スクールバディへのプレゼント作成	派遣中学生 町ALT、町通訳 引率者、担当者
7月23日(火)	【事前研修 第3回】 ➢ 語学研修(町実施)	派遣中学生 町ALT 引率者、担当者
7月28日(日)～ 8月4日(日)	【シンガポール共和国に派遣】 ➢ 出国 ➢ 帰国	派遣中学生 引率者、委託業者
8月20日(火)	【報告会 準備】 ➢ 報告会説明 ➢ 報告会原稿作成、リハーサル	派遣中学生 引率者、担当者
8月22日(木)	【報告会】 ➢ 報告会実施(運営は派遣中学生) ➢ 記録動画上映	町長、副町長、教育長、 教育委員、派遣中学生 保護者、引率者、 担当者 ほか

派遣中学生報告

河南町中学生海外派遣事業を終えて

板倉 成那

英語や世界を見て、将来のためになるようにシンガポールに行きました。

ぼくは勉強をしにきて、ありがたいな、いい経験になると思いました。

まずは、英語を話して少しでも分からなかったら、先生に聞くなりして、話していました。

でも、日本語はペラペラ話しているけど、英語を話せと言われたら、難しくて、勉強していないから英語は難しかったです。

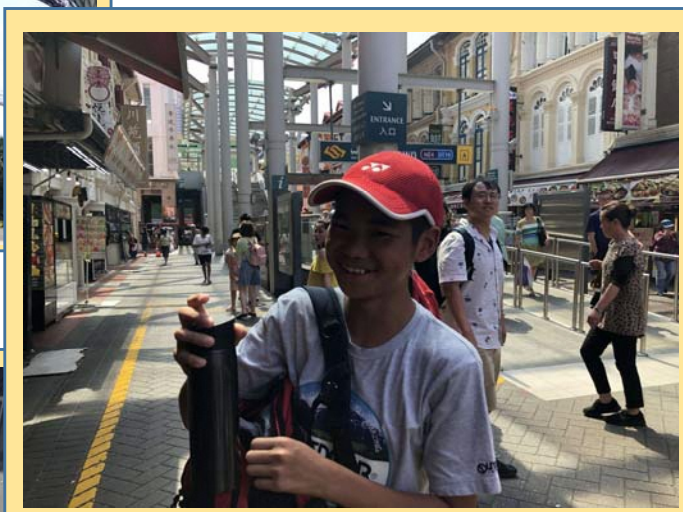
ぼくは、シンガポールに行って困ったことは英語をしゃべれないことです。

理由は、勉強をちょっとやったりして、日本語はいろんなことでしゃべれるけど、英語は全部がどういう意味なのかが分からないことです。

でも、意味はだんだんおおまかには分かりました。

がんばれたことは、英語を話したり、一生懸命に集中して、毎日の生活をやっていけたことです。

これからは、いろんなことに挑戦して、いろいろなことを学んで、たくさん楽しんで、思い出に残るように、いっぱいこれからも楽しんでいきたいです。



河南町中学生海外派遣事業を終えて

遠藤 夢来

私がシンガポールで挑戦したいことは、外国の方々とコミュニケーションをとって楽しく話したいです。シンガポールに行って少しでも英語を上達させたいです。

ホームステイの人と英語で積極的に会話し、バディの子たちとも仲よくコミュニケーションをとって、友達になりました。

その結果、どういう変化や影響があったかという、シンガポールだけではなくもっとほかの国にも行って、英語を学びたいと思いました。そのためには、もっと日本でも英語を勉強して、次に海外行くときは、今回よりもっと英語を上達させて海外に行きたいと思いました。バディの子たちと日本でもずっと仲良くしたいなと思いました。これからもがんばりたいと思いました。



河南町中学生海外派遣事業を終えて

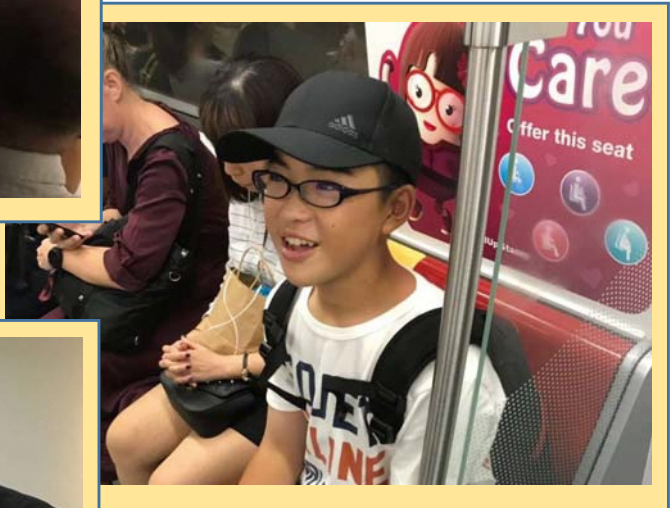
奥野 魁

僕はシンガポールに行った事で挑戦したいことが増えました、それは外国人と英語でコミュニケーションがとれるようになるまで上達させることです。

その理由はシンガポールで英語の全然知らない単語がでてきて、コミュニケーションがとれなくて困ってしまったからです。なのでこれからは英語に意欲をもって学習しようと思います。シンガポールでは知らない言葉が多かったので調べたり、日本と違う文化を探したりもしていました。

シンガポールの派遣に行ったことで、普段使わなかった英語を積極的に使ったり、知らない単語をすぐに調べたりするようになりました。他には、全然知らなかった単語が増えたことでさらに英語に興味がわきました。でも、その中でシンガポールでは不便な所もあって日本にもいい所があるなど再確認することもできました。

また、今回のシンガポールの派遣では初の海外など、色んな初めてのこともできたので非常に充実したものになりました。なので、いつかまた他の所にも行ってさらに、英語を掘り下げていきたいなと思っています。



春日 奏夢

僕がシンガポールで挑戦したいこと・望みは、日本との文化の違いを感じる、世界の広さを感じる、自分の英語がネイティブの人にどれだけ通じるか、この三つがぼくのシンガポールで挑戦したいこと・望みです。

シンガポールでは、語学学校の先生やスクールバディ、ホストファミリーなどいろんな人と会話をしました。他にも、現地の食べものや飲みものなどいろんなものに挑戦した。

僕はシンガポール研修を通して、感じたこと、思ったことは二つあります。一つはもっといろんな国に行ってみたいなと思いました。僕はシンガポールにいて、日本との違いを感じていたけど、やっぱりアジア圏内なので建物などの違いをあまり感じられませんでした。なのでもっといろんな国、特に僕が前から行きたいと思っているヨーロッパには行ってみたいと思いました。

もう一つは、もっと英語など語学を勉強したいなと思いました。シンガポールは多文化なので、中国系、アラブ系、インド系などいろいろな人種の人がありました。その人たちは、基本の会話は英語だけど、同人種の人とは、母国語でしゃべっていました。なので、英語だけじゃたりないのかなと思いました。

世界のさまざまな人とコミュニケーションをするには英語とさらに他の言語が必要なんだなと思います、もっと勉強しないといけないなと思いました。僕はこの貴重な経験を将来に生かしていきたいと思います。



河南町中学生海外派遣事業を終えて

金沢 仁菜

私の夢は、バリエで留学をすることです。しかし、私は英語がすごく苦手なので外国人の人と楽しくすらすらと話せるようにその練習をしたいと思っています。

シンガポールでは、積極的に外国人の人に話したり、シンガポールの学校の人たちとも仲良くでき、コミュニケーションをとりました。

日本の外国人の先生でも英語で話すことが困難だった私は、シンガポールで積極的に話して外国人の接し方がわかったし、前より少し英語もしゃべれるようになったと思います。

ホームステイでは、最初は緊張していたけど、だんだん一緒にいて英語の単語を一つ一つ聞くと何を言いたいのかかわかるようになり、言葉は通じなくても表現力や一つでも何か英語を覚えていると通じるものだなと思いました。

私は外国に行ったことがなかったので、お金の使い方が分からなかったけれど、1日経っていくごとにだんだん分かっていくようになりました。このように、私は学び、シンガポールの人達とも仲良くなれて本当に良い経験をしたなと思いました。この経験をいかして将来に向けてがんばっていかうと思います。



河南町中学生海外派遣事業を終えて

木村 さくら

今回の派遣で挑戦したいことは、英語を使ってコミュニケーションを取ることです。もう一つは、海外についてよく知ることです。

シンガポールの生徒とたくさんコミュニケーションを取って仲良くなりました。分らない英語があるとGoogle翻訳で教えてくれました。いろいろな観光名所や料理を食べて海外についてよく知れました。

シンガポールから帰ってきてから、不意に英語でしゃべってしまいそうになったり、スーパーに行ったときペットボトルのキャップの大きさが半分ぐらい違うことに驚きました。

気候も、シンガポールは湿度が高くジメジメしていたけれど、日本は気温が暑くカラッとしていたのでクーラーがとても便利な電化製品だと思いました。

バディーとたくさんしゃべってみて、翻訳がないとやっぱり上手く英語が使えなく、もっと英語を勉強しなければならないと思いました。だから普段からもっといろんな事に努力しないといけないと思い、帰ってきてから英語への関心を持つようになりました。

シンガポールにはお風呂がなく、日本でお風呂に入ってありがたみを感じました。シンガポールに行ってもあまり変化はなかったけれど、考え方が少し変わり成長することができました。



河南町中学生海外派遣事業を終えて

坂本 夏帆

私が、挑戦しようと思っていたことは、ホストファミリーや学校のバディーと積極的に自分から、コミュニケーションを取ることです。私は、何ごとにも積極性がなかったので、この目標を立てました。

シンガポールに行って、ホストファミリーとは、寝る前にシンガポールについて話してもらったり、バディーとは、日本の有名な食べ物などについて話しました。2人共うなずいて聞いてくれ、暖かさを感じました。

その結果、意識的にも、行動もいくつか変わったことがあります。

まずホストファミリーと行動するとき、ホストファミリーに頼らずに、自分で考えて行動することから「自分の行動1つ1つに責任を持つ」ということを思うようになりました。今までは、誰かに指示されて、その通りに行動することが多かったので、失敗しても誰かのせいにして、責任を押し付けていたけれど、自分の考えで行動するとき、しっかりと自分で責任を持とうと思いました。

シンガポールに行って分かった自分の反省点は「自分のことばかりではなく相手の意見を尊重すること」です。自分の意見ばかり相手に言ってしまって、相手の意見を無視してしまうことがありました。それは、学校生活や、友達と遊ぶ時もあったと思います。なので、これから克服したいと思います。

私はこの研修に参加する際、とても不安でしたが、家族が背中を押してくれ、参加することができました。なので、これから色々な人に感謝することを忘れず、生活したいです。



河南町中学生海外派遣事業を終えて

坂本 雅哉

僕のシンガポールでの目標は、大人になってからやりたいことを見つけることです。もう一つは自分自身の英語力を高めることです。今は、英語が苦手なので高めていきたいです。

現地学校では積極的にバディーに話すことができた。ホームステイ先では相手の方が言っている英語を少しずつ聞き取ることができた。

シンガポールに一週間いたことによって英語の話す力はあまり向上しなかったけど、英語の聞く力がついたと思います。なぜならまわりの人間が全員英語で話しているので一日一日なれてきて、最終日には、相手の言ってることが少し分かるようになっていました。それが一つ目です。

二つ目は外国で働くことに魅力を感じたことです。現地で働いていた日本人の方が言っていたことを聞いて、外国で働くことがいいと思いました。将来的には外国で働くこともいいと思います。



佐藤 琉暉

はじめに、なぜのこの研修に行きたいと思ったかという、理由は二つあります。

一つ目は、もっともっと日本以外の事に目を向けたいと思ったからです。シンガポールと日本との文化の違いや、習慣の違い、それらを知りたいと思いました。

二つ目は、もっと英語を好きになりたいと思ったからです。私はとても英語が苦手な嫌いです。でも、シンガポールに行って現地の学校の子と仲良くなったり、コミュニケーションをとると、好きになるんじゃないかと思ったからです。

私は、シンガポール研修に向けて英単語を覚えることを頑張りました。ホームステイの時に使える英語や文、単語などを勉強しました。

シンガポール研修を終えての感想は、まず、現地の学校のルールや規則、習慣に驚きました。授業中のスマホ使用が可で、飲食も可、ランチタイム以外でも、食堂はいつでも出入りできる。日本と違ったそんな習慣に驚きました。

スクールバディと仲を深めるたびに思ったことが、「英語をもっと勉強したい」です。英語をもっと話せていたら、もっと仲良くなれたし、たくさんコミュニケーションをとれたし、お互いのことを知れたと思います。

ホームステイでは、ホストファミリーと会話するのが難しく、伝えたいことがうまく伝わらなかったりして、困ることが多かったです。でもとってもいい経験ができました。

これからも、もっと英語を頑張ります。



河南町中学生海外派遣事業を終えて

竹中 照

僕は今回の派遣で挑戦したい事は、英語が苦手なので外国に行って色々な人と話して、英会話を上達したいと思いました。

訪問校に行き積極的に話しに行ったり、友達に頼らずに話しに行きました。ホームステイ先でも、積極的に話しに行きました。

シンガポールに行ってどういう変化や影響があったかという、英語が上達したと思いました。なので、それを活用して困っている外国人がいたら積極的に話そうと思いました。

気づいた事は、日本とシンガポールであたり前が違いました。例えば、食事の前のあいさつがなかったり、フリーwifiがどこに行ってもあったり、街がきれいだったり、室内はどこもすずしかったです。

シンガポールは楽しかったからもう一度行きたいと思ったので、英語をもっと勉強して行きたいです。



河南町中学生海外派遣事業を終えて

谷村 咲

僕の夢は、まだはっきり決まっていはいないけど、多くの文化が共存する社会を見て、自分の将来の視野を広げることです。

授業や見学などで、積極的にバディやクラスメートとコミュニケーションを取ったり、ホームステイの方に感謝をしました。

視野が広がり、外国の仕事に少し興味を持ち、外国で働くのも良いと思いました。

そして、日々日本であたり前に生活していることが、シンガポールのあたり前と少しちがってびっくりしました。そして、日本で食事したり生活することが、どれだけ良いことなのかに気づきました。

そして、日ごろから感謝をたくさんしようと思いました。なぜかという、シンガポールのホテルでは、全てが自分でしなければならなかったからです。なので、いつもあたり前にしてもらっていることに感謝しようと思いました。



河南町中学生海外派遣事業を終えて

玉置 彩羽

私は英語は得意ではないし、上手でもないけど、今回外国に行くにあたって、何でもいからシンガポールの人と話すことが目標です。それと私は外国に行ったことがないので、外国の環境を見てみたいです。

私は、人見知りで人と話すのが苦手だけど、シンガポールでは私のできる範囲で現地の生徒に話しかけたりしました。

私は、今まで日本という国しか見てこなかったけど、飛行機に乗って外国に行くと、こんなに生活の環境とかが違うのだなと思いました。

私がシンガポールに行って驚いたことは、現地の人のほとんどの人が何カ国語も話せるということです。ホストファミリーの家で驚いたのはシャワーとトイレがとても近かったことです。現地の中学生でも英語以外に中国語などを友達と使っているのを聞いて、すごいなと思いました。

日本では、日本語以外にペラペラに外国語を話せる人に会ったことはないけど、シンガポールでは2カ国語ぐらい話せるのがあたり前な感じだったので、そこも日本との違うことだなと思いました。

私が将来英語を使う仕事に入ったとしたら、このシンガポール研修は私の中での自信になると思います。シンガポールでの研修は楽しかったし、いろいろ良い経験になったので行って良かったなと思いました。



河南町中学生海外派遣事業を終えて

寺内 敬士郎

僕は英語が苦手だったので、積極的に英語でしゃべりました。ホストファミリーとも、英語でがんばって分かりやすいようにしゃべれました。将来英語が少しでもしゃべれるようにがんばりました。

シンガポールでは、フードコートで食べ物を買うとき、最初は指をさしたりしてたのんでいたけど、2回目からは、しっかりとしゃべれました。なので、ほかの買い物するときにもいかせました。

シンガポールに行って、感じたことは二つありました。一つ目は、シンガポールの研修で最初は英語になれなくて、ぜんぜん聞きとれなくて心配だったけど、研修のパートナーもやさしく、おそくしゃべってくれたりしました。シンガポールの授業は、なんとなく分かりました。

英語の授業は、単語が何かわからなかったけど、発音が分かっていい経験になりました。

研修の学校では、授業中にあめなどを食べていました。日本では授業中におかしを食べることはないのでおどろきました。

二つ目は、日本と外国の景色がぜんぜん違ったことです。外国はビルなどが高く、日本の河南町では山しかないのですごくきれいでした。外国にまた行ってみたいです。



河南町中学生海外派遣事業を終えて

徳永 萌々花

シンガポール派遣で挑戦したいこと・望み・夢

海外の人と積極的にいかかわり、日常生活などで普段使う英語を使えるようになりたいです。

私は英語があまり得意ではないけれど、積極的に英語を話したいです。

挑戦・望み・夢に向かってどういう行動をとったか

積極的にシンガポールの人と話した。

ホームステイ先では質問をしたり、自分の意見を言ったりできた。

バディの子と友達になれた。

その結果どういう変化や影響があったか

日本にはないものを見てすごく衝撃を受け、良い経験を積むことができた。

海外の人と話してコミュニケーション能力を高めることができた。もう一度シンガポールに行きたいと思った。

次海外に行く時はもっと英語を上達させて行きたいと思った。

もっと自分は変わらなと思っていただけ、意外と変わらなかった。

バディとずっと仲良くいたいと思った。

これからも英語の勉強を続けたいです。



河南町中学生海外派遣事業を終えて

中 啓奎

僕は今回の派遣で、英語が苦手だから少しでも英語を分かるようになりたい事と、シンガポールの文化を知りたいと思いました。

これができるように、シンガポールの方たちと、コミュニケーションをとったり、バディーの人とシンガポールの文化について話すことをしました。

シンガポールから帰ってきたらどういふ変化や影響があったかという、まず一つ目は、日本食が食べたいと思いました。その中でもみそ汁が食べたくなくて、シンガポールから帰ってきた次の日の昼に食べました。

二つ目は、シンガポールに行く前より、英語の宿題がはやく出来た気がしました。

今回の派遣で海外で働くことやシンガポールの文化、英語の大事さなどいろいろな事を知れました。



河南町中学生海外派遣事業を終えて

長谷川 優菜

今回の派遣で私が挑戦したいことは、自分から話しかけに行ったりすることが苦手だけど、ホームステイの方やバディの子や外国の方々とコミュニケーションをいっぱい取れるように、自分から積極的に話しかけに行くことでした。

シンガポールでは、自分から積極的に話しかけに行ったり、コミュニケーションを取るように頑張りました。

シンガポールに行くまでは、英語を聞いたり、話したり、書いたりすることに抵抗があったけど、日本に帰ってきた結果、テレビなどで英語を聞いたりしたとき、前までよりも英語に抵抗がなくなったり、前よりも英語が好きになっていたりという変化がありました。

そして、自分の課題であったホームステイの方やバディの子、海外の方々と、研修を行っていくにつれて、日に日にコミュニケーションが取れてきて、自分から積極的に話しかけに行った結果、ホームステイの方々やバディの子とめっちゃ仲良くなった。

いつも私は、自分から積極的に行動できないけど、こうやって思い切って行動したら、いろんな方と仲良くできると分かって、日本でも積極的に行こうと思えました。

シンガポールに行って、自分の知らなかった世界を見られて、とても楽しかったです。



河南町中学生海外派遣事業を終えて

林 夢叶

私は、なるべくたくさんの英語を使って、シンガポールの人たちと会話をすることに挑戦しました。今回は、分からない英語がたくさんあって、全然会話が成り立っていなかったと思うので、もっと楽しく会話をしたいなと思いました。

シンガポールの学校の人や、ホームステイの人の話をしっかり聞いて、言っていることを理解しようと思いました。分からない時は、友達と相談もしました。他に、今まで学校で学んだ単語などをたくさん使いました。

英語を理解しようとすることで、学校の人たちや、ホームステイの人との会話がたくさんできるようになりました。また、その会話がとても楽しくなりました。

中一になった時、英語の勉強を初めてして、楽しいなって思っていたけどだんだんその気持ちがうすれて、最近では全然勉強していなかったけど、今回の派遣でもっと英語を知りたいなと思ったので、これからもっと英語の勉強をして、次海外に行った時は、英語でたくさん話して、楽しめたらなと思います。



河南町中学生海外派遣事業を終えて

増永 万莉菜

私は、できるだけ多くの外国人とふれあってしゃべりたいです。外国ではバディやホストファミリーと交流すると言っていたので友達になれたらいいなと思いました。そして、帰国後も交流できたらうれしいです。

外国人の先生やバディの子やホストファミリーの人とできるかぎり自分の力で英語を話したり、積きよく的に行動したりしました。また、語学学校では、その日に観光する場所を学習したので理解が深まりました。

外国人の先生やバディの子やホストファミリーの人とがんばって英語でしゃべったら、思ったより通じてとても仲良くなりました。

語学学校では、その日の観光スポットをしっかりと勉強したおかげで、午後からはとても楽しかったです。今回、シンガポールで行った観光地の中でよかったなーと思うトップ3は、3位がマリーナベイサンズで、2位がチャイナタウン、1位がシンガポールZOOです。

3位のマリーナベイサンズは夜のショーがとてもきれいで印象に残っています。2位のチャイナタウンは、いたるところの壁にたくさん絵がかいてあって、写真スポットになっていました。シンガポールがコナンの映画で使われたのを記念してコナンの絵があったので、それを探すのも楽しかったです。1位のシンガポールZOOは、鳥などがおりの中に入らずに園内を歩いていたのがびっくりしました。

シンガポールはとても楽しかったのでまた家族で行けたらいいなと思います。



河南町中学生海外派遣事業を終えて

宮村 樹季

今回の派遣で挑戦したいことは、英語を使って自分の言いたいことを伝えられるようになることです。もう一つは海外に出て、視野を広げられたらいいなと思っていることが望みでもあります。

英語での伝え方が分らない時は、Googleで調べたり、自分の知ってる単語で言う努力をしました。買い物がスムーズにできるようにたくさん買い物をしたりしました。

海外から帰ってきてふとした時に、Thank youと言いそうになったり、海外へのイメージが明確に固まったりして、良い意味でも悪い意味でも、偏見がなくなったような気がします。

そして、思ったよりも日本の治安は良いんだなと感じました。海外に行ったことで、海外の食べ物を色々食べましたが、やはり地元の日本食がとても恋しくなって、日本に帰って日本食を食べた時はとてもおいしかったです。

海外の人に話しかけられても、抵抗が少しなくなったように感じます。お風呂のちがいにびっくりしました。海外はお風呂の文化があまりないのかなと思って、シンガポールから帰ってきて日本のお風呂に入った時は感動しました。なので、毎回お風呂に入るときにありがたみを感じるようになりました。海外と日本のスケールの差が大きかったので、日本を見て海外だったらどんな感じにつくるんだろうとか考えるようになりました。他にも海外に行ったことにより、変わることは多いんだなと思いました。



村元 海音

私が今回の派遣で挑戦したいことは、海外の文化を知って英語に少しでも慣れることと、苦手な英語の勉強に積極的なること、日本語がない場所で逃げずに頑張って、英語を聞き取ることです。

シンガポールでは、バディの人やホストファミリーの方と積極的に会話するように頑張りました。

英語が苦手で、最初は会話するのが少し怖かったけれど、シンガポールの方々はとても優しく、会話することができました。現地の学生の方達と仲良くすることができてうれしかったです。

行く前は、英語で会話することがとても不安で、話することができるか、どうなるか分からなかったけれど、バディの方や他の学生の方達が優しく、仲良くすることができてうれしかったです。

バディの子ともっと話することができるように、英語を勉強してみたいと改めて思うことができ、二学期からさらに英語を勉強することに、もっと本気になればうれしいなと思います。

今回シンガポールに行って、多国籍という文化を学ぶことができました。

私のバディの子の授業で、その子の母国語である言語を学ぶ授業を見学することができました。私はその言語については全く知らないのですが、その言語の授業の内容や、言っている言葉などは全く分かりませんでした。その授業を見学させていただいた事により、シンガポールという多国籍な文化の国ならではの授業があるということを知りました。

他にもいたる所にいくつかの言葉で書かれているものがあつたりと、色々な国の文化の中で、色々な生活をシェアしあうシンガポールはすごいなと感じました。

私はシンガポールに行って、色々なことを学ぶことができ、とても貴重な経験になったり、現地の中学生と交流できたり、ホストファミリーと過ごすところなどが出来たりと、色々な経験をすることによって、色々なことを学ぶことができとても楽しかったです。



派遣引率者報告

藤木 幹史

移動時間を距離に置き換えた世界地図を見ると、陸地は大きく縮んでいる。時間地図とよばれるこの地図は、世の中のグローバル化を如実に表しているようで興味深い。

交通手段や情報通信技術が発達した現在に生きる我々は、世界の国々との関係性なくして生活が成り立たない。実際に海外で仕事をしている人も多くいるし、自分のまわりを見渡しても生活に必要なものにはmade in USA、made in China、made in Malaysia などなど。インターネットの世界では、様々な国のサーバを経由して、はるかかなたの情報にアクセスできる。海外と関わり合いを持たずに日常生活を送ることは不可能な時代である。

時代が進むにつれ、先ほどの時間地図はますます縮んでいく。IT技術を加味すると、時間地図上、自分の生活のすぐ近くに、まったく違う言葉をしゃべる人が暮らす時代になっている。

文科省が発表している「世界の母国語人口」によると、1位は中国語で約8億8千5百万人、続く2位が英語で約4億人、以下スペイン語と続く。日本語は第9位であるが、残念ながら日本語が世界共通で通じることはない。英語人口は1位ではないものの、異なる言語を使う人々の共通言語として既に定着している。

日本語は自分の立ち位置を知る言葉だと、何かで読んだ覚えがある。尊敬語や謙譲語などを通じて自分の立ち位置を知り、世の中とのかかわりあいを学ぶのだとか。言葉はその国の文化を如実に表しているのだろう。だとすると、今後の世界で生きていくためには、スマホを使うように、英語を意思疎通のツールとして使えることと同時に、他国の人々の習慣やルールなどの文化を受け入れ理解することが重要になってくると思う。

今回のシンガポール研修に先立ち、3回の事前研修を実施した。その初日にシンガポールにいる現地スタッフとネット回線で会話をする機会があったのだが、20人の生徒は初対面の恥ずかしさからか全く英語で会話ができなかった。このような状況に引率者として若干の不安を感じたまま、20人の生徒はシンガポールへ出発した。

しかし、現地での研修中、楽しそうに英語レッスンを受けている様子や、街中で自分たちから地元の人に話しかける彼らを見て、その不安は次第になくなった。最終行程のホームステイを経てチャンギ空港で再会した彼らは、研修をやり遂げた自信にあふれていた。大人でも全く知らない家庭に泊まりその家族と行動を共にするとなれば、多少気が重いものだ。ましてや言葉の通じない外国であればしり込みもする。しかし当初の心配をよそに彼らはやり遂げた。

滞在期間中、生徒と行動を共にして気づいたことは、引率の大人より彼らのほうが柔軟で、適応力に優れていたこと。そして事前研修スタート時よりたくましさが増したことだ。そしてチャレンジする勇気と自信を持ったと思う。

今回のシンガポール派遣研修で、同世代の学生が何力国語も話せる現実に衝撃を受けただろう。意思疎通のツールとしての英語の重要性に気づいてもらえただろうか。世界にはこれまでの生活の中にはなかった様々なルールが存在するということを知ってもらえただろうか。自分とは違う世界で生活している他者を理解し受け入れる第一歩になっただろうか。

研修を通じて少なくともその入り口までは案内できたと思う。今後目の前の扉を開けるのは彼らである。必要なのは今回の研修で身に付けたその自信と勇気だけである。大人が代わって開けては意味がない。ぜひためらわずにその扉を自ら開けてほしいと願うばかりである。

一方私自身、初めてシンガポールを訪れたが、日本との違いや比較からくる様々な「気づき」があった。このような場に送り出していただいた教育課の皆さんや中央保育園の皆さん、そしてこの事業に関わっていただいた全ての関係者の皆様に、深く感謝いたします。



河南町中学生海外派遣事業を終えて

湯浅 千賀子

20人の生徒を海外で引率するという大きな責任を感じ、緊張しながら当日を迎えましたが、関西空港に集合した生徒達が「行ってきました！」と笑顔で保護者の方に手を振っている様子を見て余計な力が抜け、みんなが元気に帰ってくることができるように私に出来ることをしようと思いました。

慣れない海外での研修や文化の違いに戸惑うこともあるだろうと思っていましたが、シンガポールのホテルに着き、夕食の鍋料理を前にして、早速文化の違いに触れる機会がありました。係の人が小皿に取り分けてくれるまで待つという習慣に戸惑い、なかなか食事が進まないようでした。しかし、後日からのフードコートでの注文はジェスチャーを交えながらなんとか注文しお金もちゃんと払っていました。慣れてくると店員さんに自分から質問や会話をするようになり生徒達の適応力に驚かされました。

語学学校のマット先生やインターンシップのすみか先生とは一緒に行動する事も多くお世話になりました。交通ルールや食事のマナーを教えてもらい、会話で困った時は間に入って通訳してもらったこともありました。また、語学学校の受付で働いているすみか先生の姿に、海外で仕事をするイメージが少し持てたのではないかと思います。

中学校ではバディとの出会いがありました。バディと英語で話がしたいと2日目のバスの中で一生懸命に会話の練習をしていたことが印象的でした。色紙のプレゼントは喜んでもらえて本当に良かったです。海外に友達ができるなんて素晴らしいことなので、是非今後もこの出会いを大切にしていってほしいです。

長いと思っていた8日間はあっという間に過ぎていき、全員がホームステイに参加することができました。生徒達がホームステイ先に行ってしまった後、引率の大人3人は「困ってないかな」「きっと大丈夫だよ」と我が子のように案じつつ、帰りのチャンギ空港での再会を楽しみにしていました。そして思った通り、ホームステイを終えた生徒達の表情には自信がついたような誇らしさが伺え、一人一人の大きな成長を感じました。

この海外研修を通して生徒のみなさんが感じたこと、学んだことをこの先の人生で活かせる時がくることを願っています。今回は、私も様々な経験を通して多くの事を学ばせていただきました。何より20人の生徒との出会いに感謝しています。「楽しかった！」「英語もっと勉強したい！」という言葉が聞けてとても嬉しかったです。本当にありがとうございました。



記 録 写 真

令和元年度 河南町中学生海外派遣事業 事前研修会 第1回（7月6日）



事前研修スタートです



シンガポール現地の同行スタッフと
ネット回線で顔合わせ



英会話レッスンスタート
講師は町A L Tの先生です



英会話レッスン



英会話レッスン



英会話レッスン

令和元年度 河南町中学生海外派遣事業 事前研修会 第2回（7月12日）



アイスブレイク
英語を使ったゲームで肩慣らしです



英会話レッスン



英会話レッスン



英会話レッスン



英会話レッスン



英会話レッスン

令和元年度 河南町中学生海外派遣事業 事前研修会 第3回（7月23日）



英会話レッスン



英会話レッスン



実践練習
フードコートでの英会話です



実践練習
フードコートでの英会話です



実践練習
フードコートでの英会話です



実践練習
フードコートでの英会話です

令和元年度 河南町中学生海外派遣事業 1日目（7月28日）



関空集合
みんな元気そうです



シンガポールへ出発



シンガポールに到着
大混雑の入国審査を無事に終えました



ホテルに到着
語学学校やマライカ公園も徒歩圏内です



シンガポールでの初の食事
「火鍋」をいただきました



近くのコンビニへ水の買い出し
支払いも自分です

令和元年度 河南町中学生海外派遣事業 2日目（7月29日）



朝食会場入り口、宿泊客だと伝えないと
入れません



朝食はホテルのバイキングです



市街地を20分歩いて語学学校へ向かいます
途中、面白いオブジェがありました



午前中はUnited Language Center
(ULC)で語学研修です



午後は、マーライオン公園に向かいます
有名な「あれ」が見えてきました



マーライオン公園対岸の
ガーデンバイザベイにて

令和元年度 河南町中学生海外派遣事業 3日目（7月30日）



午前中の語学レッスンは、午後に訪問するシンガポール動物園について勉強します



勉強の成果をプレゼンします。
もちろん英語です



みんな一生懸命に発表しました



調査したシンガポール動物園に着きました
ULCの先生も一緒です



シンガポール動物園には、
鉄の「檻」がありません



外食文化のシンガポールらしく、朝食以外は
フードコートで食事です。自分で注文します

令和元年度 河南町中学生海外派遣事業 4日目（7月31日）



語学学校3日目です



メッセージカードを日本へ送りました



Mass Rapid Transit(MRT・地下鉄)
でチャイナタウンへ移動



ここでのお題は「名探偵」のウォークを探
せ」です。街の人に尋ねながら探します



リトルインディアを経て
MRTでアラブストリートへ到着



たくさんのお土産を携えてレストランへ
夕食は名物チキンライスです

令和元年度 河南町中学生海外派遣事業 5日目（8月1日）



制服に着替えて、現地の中学生との
交流に向け出発



Fajar Secondary Schoolに到着



スクールバディと一緒に授業を受けます



食堂でのひととき
すぐに仲良くなりました



一緒にランチを食べました

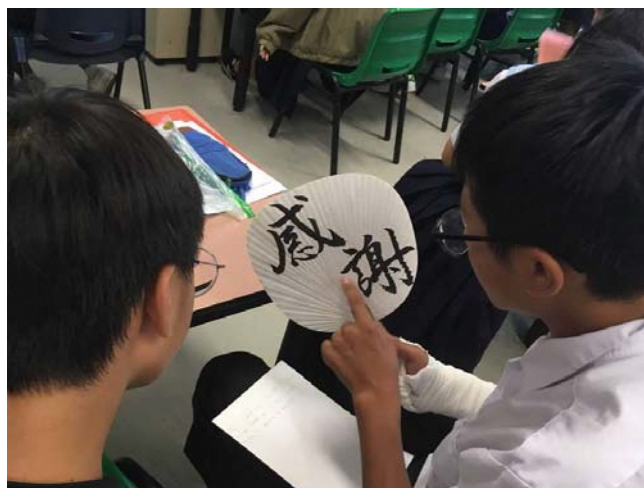


午後はアジアNo1の
シンガポール国立大学を訪問しました

令和元年度 河南町中学生海外派遣事業 6日目（8月2日）



学校訪問2日目です
今日も授業を受けます



プレゼントの交換をしました
事前研修で用意したものです



好きな日本語を色紙などを書いて
英語で説明しました



午後は、ソフバ ソクツガ ホールのIzuharaさん
からITやビジ 初の講話をお聞きました。



語学学校で終了証をいただきました



夕方からは、いよいよホームステイへ
出発です

ホストファミリーのみなさんと（ホームステイ）



令和元年度 河南町中学生海外派遣事業 ホームステイ（8月2～4日）



令和元年度 河南町中学生海外派遣事業 8日目（8月4日）



ホストファミリーに送ってもらい
チャンギ国際空港に集合



ここでMattとSumikaとお別れです
お世話になりました



最後に全員で集合写真。後ろのゲートを通ったらシンガポールともお別れです



飛行機搭乗までのひととき
お土産も買いました



関空に到着です
みんな最後まで元気でした



みなさんお疲れ様でした

令和元年度 河南町中学生海外派遣事業 報告会（8月22日）



報告会スタートです



司会進行



活動報告



活動報告



活動報告



最後に記念撮影

現 地 報 告 ブ ロ グ

このブログは、現地の活動状況をお知らせするため、
シンガポール派遣期間中に毎日更新したものです

【河南町】2019年夏:シンガポール研修1日目

河南町シンガポール研修がいよいよスタートしました。
今年は、2019年7月28日～8月4日までの8日間の研修となります。

今日の大阪は台風が去った影響もあり、天気が良く、朝から暑い日でした。

関西空港では、8:30集合と朝早い時間にも関わらず、皆さん元気いっぱいに集まっていただきました！

夏休みのピークシーズンということもあり、飛行機は満席。空港にはたくさんの人で溢れかえっていました。

カウンターでチェックイン手続きを行い、その後、みんなで出発前の集合写真をパチリ！

本当は多少の不安もあるかことと思いますが、子供たちの表情はとても明るいです^^



そして出国手続きへ。ここでご家族とお別れです。

搭乗までの時間を利用して、入国カードの記入を行いました。



搭乗までの時間はみんなで楽しく盛り上がっていました^^



特に問題なく搭乗を済ませ、定刻通り関西空港を出発しました。
機内食は、和食と洋食の2種類。和食はカレーで洋食はチキンでした。

予定より 50 分早くシンガポールへ到着！ただ、イミグレーションがとても混雑しており、外に出るのに 1 時間半もかかってしまいました。

シンガポールの天気はとても良く、気温は 31 度と、今日の大阪の気温よりは低いようです。

長時間のフライトではありましたが、みんな疲れ知らずで元気いっぱいです！

イミグレーションでの入国審査で「緊張したー」と言いながらも、問題なく入国しました。

空港の到着ロビーでは、今回シンガポールでサポートをする Matt がお出迎えに来てくれました。

「Hello! Nice to meet you!」とここから英語がスタートです！

いきなりの英語で急に緊張してしまった子供たちもありました^^



道中、車窓からはシンガポールのシンボルである、マリーナベイサンズと Gardens by the Bay が見えてきました。

これにはみんなテンションがあがり、Photo time!! そして 20 分ほどでホテルに到着！



Matt からオリエンテーションが行われた後は、Welcome Dinner（夕食）です。

今日の夕食は、ホテル内にあるレストランで HotPot（火鍋）を食べました。子供たちが食べられるように辛いお鍋でしたので、みんなおいしくいただきました！



Matt と楽しく英語で会話はできたかな？まだ初日なので、恥ずかしそうな様子でしたが、これからですね！

ぜひ積極的に英語で話をしてもらいたいと思います。

夕食後は、ホテルから歩いて2～3分くらいのところにある「セブンイレブン」でお買い物！
飲み物やお菓子などを買いました！シンガポールドルを使っの初めての買い物でしたが、みんな
きちんと買うことができました。



明日からはいよいよ研修が本格的にスタートとなります。
今回の研修はたくさんの要素が詰め込まれた内容となっていますので、
積極的にチャレンジをし、大きく成長して帰国していただきたいと思っています。

See you tomorrow!

【河南町】2019 年夏:シンガポール研修 2 日目

シンガポール研修 2 日目（2019 年 7 月 29 日）

今日からいよいよ本格的に研修がスタートとなります！

シンガポールの朝の天気は晴れ☀ 朝の天気は 28 度で、最高気温は 31 度です。

日本の方が気温が高かったようですね。今日は 6:00AM に起床し、7:00AM に朝食です。



朝食はホテル内のレストランにて、ビュッフェ形式となります。パン、ベーコン、ソーセージ、シリアル、ヨーグルト、麺類、ライス、炒飯、野菜炒め、フルーツ、パンケーキなどいわゆるホテル朝食バイキングです。



朝からたくさん食べました！おかわりをしている生徒たちもありました^^

8:00AM にロビーに集合し、語学学校へ出発！ホテルから学校までは徒歩で 10 分程度のところにあります。

学校に到着！ 学校からは、マリーナベイサンズが見えます！！



まずは英語力チェックのためのテストを受けました。

その後、2クラスに分かれて英語レッスンがスタート

今日のレッスンは、Simple Question として質問の仕方を学んだり、シンガポールの観光地や食事について学び、どの観光名所に行きたいかとその理由についてのディスカッションを行いました。



最後に、ポストカードの書き方を学び、実際に英語でハガキを書きました。

どんなハガキが届くかは楽しみにしてくださいね！



午前中のレッスン後は、学校近にある Raffles City Shopping Center 内にあるフードコートにてランチです。

あまりにもたくさん種類があるので、何が良いか迷ってしまいます。

みんな頑張ってオーダーしていました^^



午後からは待ちに待った City ツアーです！

まずはマーライオンパークで、マーライオンとマリーナベイサンズを見に行きました。



その後、ハイテク技術を駆使した未来型植物園「Gardens by the bay」へ歩いて移動。暑さと湿気で疲れ気味でしたが、施設の中は 22℃に保たれておりとても涼しいのです。

まずは世界各地の植物を一堂に集めた「フラワードーム」の施設へ。まさにインスタ映えするスポット！



もう一つの施設「クラウド・フォレスト」では 35 メートルの高さから流れ落ちる滝を見ることができます。これは圧巻です。

最後は、巨大な木をイメージして作られた「スーパーツリー・グローブ」で集合写真



Gardens by the bay で撮った写真を見せてもらいましたが、みんな、写真の撮り方が本当に上手でビックリです！ぜひお子様たちの写真をご覧になってくださいね！

夕食はマリーナベイサンズのショッピングモール内にあるフードコートで夕食です。
チキンライスやヌードルや日本食など、みんな様々なものを食べていました。



夕食後はマリーナベイサンズで毎日行われる SPECTRA という音楽と水（噴水）と光のショーの鑑賞です！

噴水をスクリーンにしたプロジェクションマッピングにみんな釘付けでした。



帰りはシンガポールで初の MRT（地下鉄）に乗って帰りました。



シンガポールは日本とは異なる様々なルールがあります。
そのルールを破ると、罰金がすごく高いので気を付けましょう。
電車内にもこのような注意書きがされています。



今日はみんなたくさん歩いてヘトヘトなんだろうなと思っていましたが、地下鉄を降りて地上に出る際に、階段を駆け上がっていました^^;
まだまだエネルギーがあふれておりました^^

今日もみんな元気に過ごしておりましたのでご安心ください。
明日は、午前中に英語レッスンを行った後は、シンガポール動物園に行きます。
それでは、See you tomorrow!

【河南町】2019 年夏:シンガポール研修 3 日目

シンガポール研修 3 日目（2019 年 7 月 30 日）

今朝の天気はくもり、気温は 28 度です。今朝は曇っているのですが昨日と比べて少し涼しい感じがします。生徒たちは昨日の疲れが少し出ている様子でしたが、体調不良もなく、みんな元気です^^
ホテルの朝食バイキングで食事を摂り、語学学校へ移動です。



今日は午後からのアクティビティである動物園に関連したレッスンを行いました。動物の名前をクロスワードのゲーム方式で学んだり、好きな動物が何か、その理由や、その動物の特徴、そして何を食べるのかなどをお互い英語で質問しあったりしてました。



次に、シンガポール動物園のマップを見ながらどこに何があるのかを学んだあと、リサーチプロジェクトとして、グループに分かれて、一つの動物についてリサーチをして発表したり、自分たちでデザインした動物園をグループで考えて発表をする、いわゆるプレゼンテーションを行いました。みんな、頑張ってプレゼンをしてましたよ！！





ランチは昨日と同じ Raffles City のフードコートです。オーダーするのもすっかり慣れた様子でした^^
午後からはバスに乗って Singapore Zoo（動物園）へ移動！バスの中では、これまでの疲れがたまっていたのか、爆睡でした^^ 30 分ほどで Singapore Zoo に到着！



記念撮影の後は、3 グループに分かれて動物園を楽しみました。
Singapore Zoo の特徴は、Open concept(オープンコンセプト)と言って、檻や柵を極力使わずに、自然のまま飼育されているところです。

動物たちがまるで自然の中で生きているような感じのため、このように、まじかに動物を見て触れ合うことができます！



様々なアニマルショーも鑑賞して楽しめました。



午後からは気温も上がってきたこともあり、ジュースやアイスを買いました！
みんなすっかり英語で買い物をするのに抵抗がなくなってきたようです。

「May I have～」とちゃんと注文をすることができました！



動物園の後は、ホテルの近くのフードコートで夕食を摂り、今日は早めに解散となりました。
みんな、この3日間でたくさん歩いたので、疲れて早く寝ているはずです。

明日はカルチャーツアーが行われますので、楽しみにしてください！

それでは、See you tomorrow!!

【河南町】2019 年夏:シンガポール研修 4 日目

シンガポール研修 4 日目（2019 年 7 月 31 日）

今日も天気が良く、いつものシンガポールらしい気候です。

ホテルでの朝食のあと、語学学校へ移動し、最後のレッスンを受けました。

初日は恥ずかしがっていましたが、自信をもって英語で発言をしていたりと、子供たちの吸収力と順応性のすごさに改めて驚かされます。

今日のレッスンは、午後からの Culture tour に向けて、シンガポールの国や文化について学んだり、チャイナタウン・リトルインディア・アラブストリート・ブギスのエリアについても学びました。

その後、日本の国についてや日本のおすすめスポットなどについて考えて発表しました。

明日は、現地校交流があるので、今日学んだことをぜひ活かして、現地の生徒とたくさん話をしてもらいたいです^^



レッスン後は、昨日書いたポストカードを仕上げた後、ポストに投函しました。

みんな英語でしっかりと書いていました！



ランチ後は、Culture tour です。まずはチャイナタウンでショッピング！

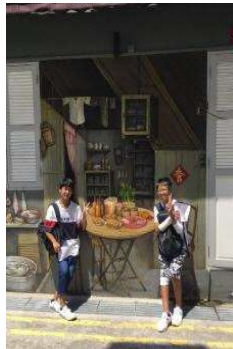
家族や友人などに、キーホルダーやカバンやお菓子や文具類などなどお土産をたくさん買いました^^



そして、ここチャイナタウンには、シンガポールが舞台となった名探偵コナンの映画を記念して描かれた、コナンのウォールアートがあります！



他にも様々なウォールアートがあり、様々なポーズで写真を撮りました。



その後、リトルインディアへ
チャイナタウンとはまた雰囲気が異なります。



そして、アラブストリートにも行きました。



それぞれのエリアで雰囲気が全く異なるので、1日で3カ国訪問した気分になります^^
シンガポールが多民族国家であることを体感してもらえたかと思います。

夕食はシンガポール料理で有名なチキンライスをみんなで食べました！



今日もみんなたくさん歩きましたね！

明日はいよいよ現地校に訪問となりますのでゆっくり休みましょう！

それでは、See you tomorrow!!

【河南町】2019 年夏:シンガポール研修 5 日目

シンガポール研修 5 日目（2019 年 8 月 1 日）

本日はいよいよ現地校訪問となります。みんな制服に着替えて、いつもより少し早い出発です。



今回訪問した学校は Fajar Secondary School と呼ばれる公立の学校となります。
学校に到着して、まずは学校スタッフからオリエンテーションが行われました。
こちらの学校に通っている日本人生徒が通訳にいらっしゃいました。



Fajar Secondary school は 1994 年に設立された新しい学校です。
これまでも他の国からの受け入れ実績があるようで、昨年は香港の学校の受け入れをされたようです。
日本に興味を持っている生徒も多いようです。
さて、オリエンテーション後に、2 グループに分かれてクラスへ入ります。
みんな少し緊張気味です^^



自己紹介をした後、スクールバディーの隣に座り、早速に実際の授業に参加をしました。
国語(English)、理科、数学、マレー語などのレッスンを受けました。
少しずつ笑顔が見られ、バディーと頑張ってコミュニケーションをとっている姿が見られます^^



途中の休憩(Recess)の時には、すっかり打ち解けていて、写真を撮ったり、連絡先の交換などをしていました^^ 子供たちにとって、国や文化の違いだったり、言葉の壁というものはいらないんだと改めて感じました！大事な的是お互いを受け入れて、お互いのことを知ろうという気持ちなんですね。





スポーツで交流をしている姿も見られました^^



さて、午後からはシンガポール国立大学（NUS）でのキャンパスツアーです。
NUS は世界的に名門の大学で、アジアの大学ランキングではトップの大学です。



今回のキャンパスツアーでは NUS の大学生 2 名が案内してくださいました。
お二人は日本語を学んでおり、日本語でツアーを行っていただきました。
今回は、学生寮、カフェテリア、フォードコート、Book store など
U Town と呼ばれる学生の生活施設の集まったエリアを見学しました。



Book Store でお買い物もしました。



その後は、2 グループに分かれての Q&A タイムです。



NUS 内で夕食をとったあとは、ホテルに戻りました。

シンガポール研修も残り 3 日間となりました。

「シンガポールにまだ残りたい」「楽しい時間もあと少しで終わりなのが寂しい」という声が聞こえてきています。

明日はいよいよホストファミリーとのご対面の日になります。

みんな、ちょっと緊張してきたかな？それとも楽しみかな？

それでは、See you tomorrow!!

【河南町】2019年夏:シンガポール研修6日目

シンガポール研修6日目（2019年8月2日）

本日は現地校交流の最終日＆ホームステイとなります。

午前中は Fajar Secondary School を訪問しました。

移動のバスの中では、英語で何かを話ししている声が聞こえてきます。

どうやら、スクールバディへ色紙をプレゼントする際の練習をしているようです^^

学校に到着後、昨日と同様に2クラスに分かれて授業に入ります。

国語(英語)、理科、算数、Art Design、そして特別レッスンとしてバルーンアートやクッキングも行いました。



スクールバディーやクラスメイトともすっかり仲良くなり、特に女の子はすごく盛り上がっていました^^

男の子はスポーツを通して交流をしていました！



そして、スクールバディーへギフトを渡しました。

バディーにとってはサプライズですので、涙を流していたり、ハグをしたりと、すごく喜んでもらえました！



2日間という短い期間でしたが、お互いが深い絆で結ばれ、特別な友達になったことでしょう。

日本に帰っても連絡してね！また会おうね！そんな会話が聞こえてきます。

▼クラス 1



▼クラス 2



午後は、語学学校 ULC に戻り、シンガポールで働いている日本人による講和をいただきました。

今回は、SoftBank Singapore から Izuhara さんが、ご本人のこと、会社のこと、現在の IT テクノロジーの技術のこととそれが将来どうなるのか、他国の STEM 教育がどれだけ進んでいるかなど、とても興味深いお話をしてくださいました。

最後の Q&A では、子供たちからたくさんの質問がでてきました。

Siri って何ですか？ ロボットが人を支配する日は来るのですか？ なんでシンガポールで働こうと思ったんですか？ いまどんな開発をしているのですか？



最後に Izuhara さんから子供たちに、メッセージが送られました。

自信を持つこと、チャレンジをすること、いろいろなことに興味を持つこと、そして英語を頑張ること

何かしら心に響いていただければ良いなと思いました。

レクチャーの後は、語学学校の ULC より Certificate(修了証)の授与が行われました！

みんな良く頑張りました！！



その後、ホテルに戻り、ホストファミリーを待ちます。

ホストファミリーと対面した際は、笑顔であいさつをしていました！

英語であいさつが自然にできています^^



研修も残すところあと2日です。

ホストファミリーとたくさんお話をし、たくさんの思い出を作ってくださいね！

【河南町】2019年夏:シンガポール研修7日目

シンガポール研修7日目（2019年8月3日）

本日は終日ホストファミリーと休日を過ごしていただきます。

この6日間、毎朝ロビーに集まり、朝食をとり、研修先に一緒に行き、生徒たちの頑張っている姿を見ていましたが、今日はその生徒たちがいません。なんだか寂しい気持ちになっていました。

我々引率者は、生徒たちを探しに行こう！となり、勘を頼りに生徒たちを探しに出発しました。

6人の生徒たちにばったり遭遇できました^^

みんな驚いた顔をしてましたね！色々話を聞きたかったけど、あまり邪魔はしたくないので、すぐにbye-bye

楽しんでね！！



何人かのホストファミリーからは、写真をお送りいただいたので、一部をご案内いたします。

手にはたくさんのお土産^^



おいしいものを食べ、いろいろなところに連れて行ってもらい、とても良い経験ができたのではないのでしょうか？

ぜひ、ご自宅に戻られましたら、お話をきいてください^^

少し話は変わりますが、シンガポールは地震や自然災害の少ない国です。そのため、日本ではありえないようなユニークな建築物がありますので、一部をご紹介しますと思います。



下の写真ですが、少々わかりにくいかもしれませんが、左側のビルにご注目ください。

一見、薄っぺらいビル（2D）に見えますね！



明日はいよいよ帰国日となります！

See you tomorrow!!

【河南町】2019 年夏:シンガポール研修 最終日

シンガポール研修最終日（2019 年 8 月 4 日）

とうとう研修の最終日となりました。

生徒たちはホストファミリーによる送迎で空港に集合しました。みんなホストファミリーとは楽しく過ごせたかな？



他国の家庭で生活体験をすることは貴重な経験だと思います。楽しいことばかりでなく、文化の違いに戸惑ったり、英語がうまく伝わらず困ってしまったこともあったかと思います。それも含めてすべてが思い出となり、この経験がきっかけで、異文化理解につながったり、英語をもっと勉強しようと強く感じたりしてもらえたら嬉しいです。

チェックインを済ませ、これまでお世話になった Matt と Sumika ともお別れです。



搭乗までに時間があるので、自由時間と各自昼食をとってもらいました。

インフォメーションデスクで自分の買いたいお土産の場所を英語で聞いている生徒もいました^^

引率者に英語で挨拶してくれたり、Thank you と自然に英語が出てきたり、すっかり英語脳になっていました^^





そして無事に日本に到着です！



最初は恥ずかしがって、英語で話すことを躊躇していた生徒たちでしたが、自分たちで殻を破り、引率者に頼らず積極的に取り組みました。大きく成長した姿を間近で見ることができ、本当に嬉しいです。

今回の研修で、海外を見る楽しさ、英語の必要性、異文化理解、他国の食文化、チャレンジ精神、乗り越える力などなど、たくさんのことを得て帰ってきましたね。

この8日間、本当に頑張りましたね！

またいつかどこかで会えることを楽しみにしています。

See you soon!!

編集・発行 河南町教育委員会事務局 教・育部 教育課
〒585-8585
大阪府南河内郡河南町大字白木1359-6
TEL 0721-93-2500
FAX 0721-93-7560

発行月 令和2(2020)年3月



